

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0279

(注)本稿は 2013 年 9 月 14 日から 23 日まで 7 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2013.9.25
前田 高行

MENA(中東・北アフリカ)22カ国の「世界競争力ランキング」(2013-2014年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その15)

目次	頁
1. 「世界競争力レポート」について	2
2. MENA17カ国の世界競争力ランキング	2
3. 過去5回の順位の推移	
3-1 MENA 各国の順位の変遷(第9回～第13回)	3
3-2 主要3カ国と米国・日本・中国の比較	4
4. MENAの分野別競争力	4
5. 主要国の分野別競争力(レーダーチャート)	7

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム協力機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第15回のランキングは、「世界経済フォーラム」(World Economic Forum, 略称 WEF)が発表した「Global Competitiveness Report 2013-2014」(世界競争力レポート)について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* WEF ホームページ:

<http://www.weforum.org/reports/global-competitiveness-report-2013-2014>

1. 「世界競争力レポート」について

「世界競争力レポート(Global Competitiveness Report)」は、毎冬スイスで開催される「ダボス会議」の主催者として世界に名を知られている「世界経済フォーラム」が2001年から毎年発表しているレポートであり今回で第13回目となる。第1回レポートの対象国は75カ国であったが、その後対象国は増え今回は148カ国となっている。MENA の対象国は17カ国であり、評価対象外となっている国はシリア、イラク及びパレスチナ自治政府である。

このランキングは、一般に入手可能な公表データと、WEF が報告対象各国の提携機関とのネットワークで行っている包括的年次調査「エグゼクティブ意見調査」の結果から算出されている。ちなみに日本の提携機関は慶応大学、経済同友会である¹。

「世界競争力レポート」の総合的な競争力ランキングはコロンビア大学のザビエル・サラ＝イ＝マーティン教授が開発し2004年に導入された世界競争力指数(Global Competitiveness Index, GCI)が用いられている。GCIは競争力に関する12の分野をもとに設計されており、世界の国々のすべての発展段階における競争力の全体像を示している。

12分野とは、①制度機構(Institutions)、②インフラ(Infrastructure)、③マクロ経済の安定(Macroeconomic stability)、④保健および初等教育(Health and primary education)、⑤高等教育及び訓練(Higher education and training)、⑥商品市場効率(Goods market efficiency)、⑦労働市場効率(Labor market efficiency)、⑧金融市場の洗練度(Financial market sophistication)、⑨技術的即応性(Technological readiness)、⑩市場規模(Market size)、⑪ビジネスの洗練度(Business sophistication)及び⑫イノベーション(Innovation)である。

2. MENA17カ国の世界競争力ランキング(末尾表 15-T01 参照)

2013-2014年競争力ランキングではMENA19か国のうち17カ国がランク付けされている。トップは昨年に引き続きカタールであり、同国は世界148カ国中の13位に評価されている。カタールに続く MENA の2位は UAE で世界順位19位、MENA3位はサウジアラビア(世界20位)、4位イスラエル(同27位)である。以下オマーン(世界33位)、クウェイト(同36位)、バハレーン(同43位)と続いている。これら MENA 上位7カ国のうちイスラエルを除く6カ国は GCC(湾岸協力機構)加盟国である。GCC 諸国は石油・天然ガスの富により MENA 域内では突出した競争力を持っていることがわかる。

MENA8位、9位はトルコ(世界44位)、ヨルダン(同68位)であり、以上の9カ国が全世界148カ国中の上位グループに入っている。なお MENA17カ国の平均順位は66位であり、MENA 地域の競争力は世界平均を少し上回っていると言えよう。

因みに世界ランクの1位はスイスであり、これにシンガポール、フィンランド、ドイツが続き米国は5位、日本は9位である。韓国は世界25位でサウジアラビアとイスラエルの中間に位置し、中国は世界29位である。またインドとロシアはトルコより低くそれぞれ60位及び64位である。

3. 過去5回の順位の推移

3-1 MENA 各国の順位の変遷(第9回～第13回) (末尾表 15-T02 参照)

第9回(2009-2010年)から第13回(2013-2014年)までの競争力ランクの推移を見ると、MENAトップは5年連続してカタールである。この間のカタールの世界順位は第9回の22位から第12回の11位まで毎年順位を上げ、トップテン入りが目前であったが、今回は若干下がり13位にとどまっている。

UAE は第9回の23位から第12回(2012-2013年)まで20位台であったが、今回は10位台の19位に上昇、サウジアラビアを追い抜き MENA ではカタールに次いで2番目となっている。サウジアラビアは第9回の28位から第11回には17位に上がったが、その後2年間はやや下降気味であり今回は20位にとどまっている。

カタール、UAE 及びサウジアラビアはいずれも湾岸の有力産油(ガス)国であり、近年石油・天然ガス価格が高水準で推移しているため豊かな財政力にものを言わせて産業基盤の整備、外資誘致などに積極的であり競争力の評価が高まっていると言えよう。その他の GCC3カ国(オマーン、クウェイト、バハレーン)も5年間を通じて常に世界40位以内に入っている。但しバハレーンのみは前回から今回にかけて35位から43位に急落した。同国の場合、シーア派の街頭テロが絶えず国内治安が不安定であることが競争力の低下に表れている。

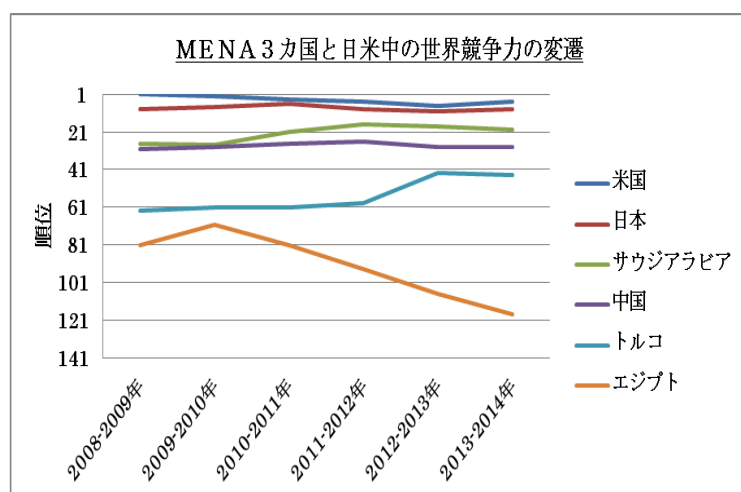
MENA の大国であるトルコ、イランおよびエジプトの3カ国を比較すると、第10回(2010-2011年)はトルコ61位、イラン69位、エジプト81位であった(第9回はイランが順位付けされていない)。トルコはその後59位→43位→44位と順位を上げ安定して世界の上位グループにつけている。これに対してイランは第12回までは60位台を維持していたが、今回は82位に急落している。さらにエジプトの場合は第9回の70位以降81位→94位→107位→118位と大きく順位を落としている。ムバラク政権時代に比較的堅調であったエジプトは「アラブの春」以降、内政が混乱、それと共に経済悪化に歯止めがかからない。これが競争力低下の原因となっている。

「アラブの春」のきっかけとなったチュニジアは政変前と直後の3年間は40位→32位→40位と比較的安定していたが、第12回は評価対象外とされ、評価が再開された今回は83位と大幅に下がっている。

MENA 諸国はここ数年競争力順位を下げた国が多く、世界における MENA の平均順位も第9回の52位から54位→58位→62位→66位と毎年ダウンしている。全世界の調査対象国数が第9回の133カ国から今回の148カ国に増加しているため平均順位の下落がそのまま MENA の地位低下を示している訳ではないが、第9回が133カ国中の52位であったのに対し、今回が148カ国中の66位であることから MENA の競争力が低下しつつあることは疑いようがない。

3-2 主要3カ国と米国・日本・中国の比較

MENA の経済大国であるサウジアラビア、トルコ、エジプト3カ国と米国、日本、中国の過去6回の競争力順位を比べてみる。



米国の第8回(2008-09年)の順位は世界トップであったが、その後第12回までは2位→4位→5位→7位と毎年順位を下げ、今回は5位に戻っている。日本は9位→8位→6位→9位→10位→9位であり6年連続してベスト10に入っている。但し第10回(2010-11年)の6位が最高であり最近の3回は9乃至10位である。

サウジアラビアと中国は第8回と第9回の順位が拮抗していたが、中国が第10回以降も20位台後半で推移(30位→29位→27位→26位→29位→29位)したのに対しサウジアラビアは世界順位を上げて、第11回以降は20位以内に入り両国の競争力に格差が生じている。

トルコとエジプトの第8回ランキングはそれぞれ63位と81位であり、第9回には61位と70位となり両国の差は縮小した。その後トルコは第12回に一気に43位に駆けのぼり世界の上位グループに定着したようである。これに対してエジプトは第9回の70位を最高に以後は81位→94位→107位→118位と毎年順位を大きく下げている。先に見たとおり MENA の世界平均順位が毎年下落している中でトルコが世界順位を上げていることは特筆に値する。

4. MENAの分野別競争力 (末尾表 15-T03 参照)

冒頭に触れた通り世界競争力指数は「制度機構」から「イノベーション」まで12の分野について世界148カ国を順位付けている。各分野毎の MENA 各国の世界順位は概略以下のとおりである。

(1) 制度機構(Institutions)

MENA トップはカタールで世界順位は4位と非常に高い。同国に次ぐのは UAE(世界11位)、オマーン(同13位)、サウジアラビア(同20位)であり、これら GCC 諸国は世界的に見ても高い水準である。但し同じ GCC 構成国でもクウェイトは世界49位であり6カ国の中では見劣りがする。

(参考:日本17位、米国35位、中国47位)

(2) インフラ(Infrastructure)

UAE は世界5位であり非常に評価が高い。これに次ぐのがカタール28位、バハレーン30位、サウジアラビア31位であり、MENA 諸国の中では UAE が飛び抜けている。

(参考:日本9位、米国15位、中国48位)

(3) マクロ経済環境(Macroeconomic environment)

クウェイトが世界3位。以下サウジアラビア(4位)、オマーン(5位)、カタール(6位)、UAE(7位)である。GCC の5カ国が世界の3位から7位を占めている。これら各国に続くのがリビア(16位)、バハレーン(21位)である。GCC6カ国は国家財政の大半を石油収入に依存しており、いずれも絶対君主制国家という共通点がある。原油価格が高い水準を保ち、さらに「アラブの春」の民主化運動の中でもバハレーン以外は動揺が少なかったことが評価されている。これに対してヨルダン(138位)、エジプト(140位)、レバノン(148位)などは世界148カ国中の最低ランクにとどまっている。

(参考:中国10位、米国117位、日本127位)

(4) 保健および初等教育(Health and primary education)

この分野では世界25位のカタールが MENA トップである。これに次ぐのはレバノン(28位)、イスラエル(38位)、バハレーン(44位)である。一方、エジプト(100位)、リビア(120位)、イエメン(129位)など世界ランクの低い国も少なくなく、MENA 諸国の間にはかなりの格差がある。

(参考:日本10位、米国34位、中国40位)

(5) 高等教育及び訓練(Higher education and training)

MENA トップはカタール(世界29位)である。これに次ぐのがイスラエル(同34位)、UAE(35位)、レバノン(45位)、サウジアラビア(48位)である。アルジェリア(101位)、モロッコ(102位)、リビア(104位)、エジプト(118位)、イエメン(144位)の5カ国はこの分野の順位が100位以下である。

(参考:米国7位、日本21位、中国70位)

(6) 商品市場効率(Goods market efficiency)

この分野ではカタールが世界3位で MENA のトップである。UAE がカタールに次ぐ世界4位である。これら2カ国に続くのがオマーン(18位)、バハレーン(19位)で GCC の4カ国が上位を占めている。同じ GCC 加盟国であるがクウェイトは世界90位と非常に低い。地域の大国トルコ、イラン、エジプトの順位はそれぞれ43位、110位、119位である。

(参考:日本16位、米国20位、中国61位)

(7) 労働市場効率(Labor market efficiency)

世界6位のカタールが MENA トップである。UAE(世界9位)、バハレーン(同19位)、オマーン(同28

位)がこれに続いている。しかし MENA のこの分野における世界順位は概して低く、アルジェリア(147位)、エジプト(146位)、イラン(145位)、イエメン(141位)、リビア(136位)、チュニジア(132位)、トルコ(130位)など世界148カ国の中でも最低クラスの国が多い。このため MENA の平均順位は95位であり12の指標の中では最も低い。

(参考:米国4位、日本23位、中国34位)

(8)金融市場の洗練度(Financial market sophistication)

MENA ではカタールが最も洗練された金融市場と評価されており世界13位である。そのほかではオマーン(世界21位)、イスラエル(22位)などが世界競争力の高い国とされている。金融活動が活発な UAE は世界24位、バハレーンと同25位である。

(参考:米国10位、日本23位、中国54位)

(9)技術的即応性(Technological readiness)

この分野では世界ランク23位のイスラエルが MENA トップである。続いて UAE(世界28位)、カタール(同31位)、バハレーン(32位)、サウジアラビア(41位)と続いている。一方、イラン、アルジェリア、リビア、エジプト及びイエメンは世界100位以下である。

(参考:米国15位、日本19位、中国85位)

(10)市場規模(Market size)

市場規模の競争力ランクではトルコが世界16位、イラン19位、サウジアラビア23位、エジプトが29位である。この指標は人口規模と密接に関係しており、MENA の人口大国が上位に並んでいる。これに対して UAE(44位)、カタール(60位)、クウェイト(66位)など湾岸産油国は一人当たりの購買力は高いが、人口の絶対数が少なく、市場規模の競争力は高くない。

(参考:米国1位、中国2位、日本4位)

(11)ビジネスの洗練度(Business sophistication)

カタールが MENA 1位(世界10位)であり、これに続くのが UAE(16位)、イスラエル(23位)、サウジアラビア(28位)である。一方、イラン(104位)のように経済制裁を受けている国々は、欧米の経営ノウハウの流入が遅れており、洗練度が低く競争力は見劣りすると評価されている。

(参考:日本1位、米国6位、中国45位)

(12)イノベーション(Innovation)

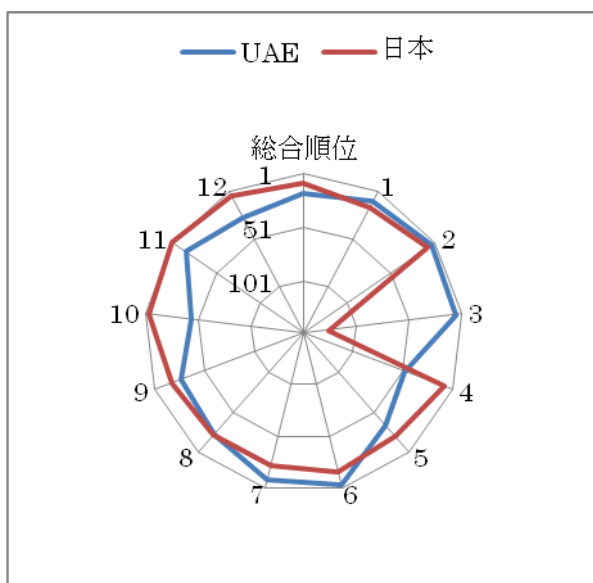
イスラエルは世界3位であり、技術先進国としての評価が定着している。同国に次ぐ MENA 2位はカタール(世界16位)、以下 UAE(28位)、サウジアラビア(30位)であり、MENA 1位のイスラエルと2位以下の格差は大きい。なお GCC 加盟国の中でクウェイトは118位と際立って評価が低い。イエメンは世界最下位であり、リビア、アルジェリア、レバノン、エジプトなど100位以下の国も少なくない。アラブ諸国はイノベーション分野では後進地域と見なされているようである。

(参考:日本5位、米国7位、中国32位)

5. 主要国の分野別競争力(レーダーチャート)

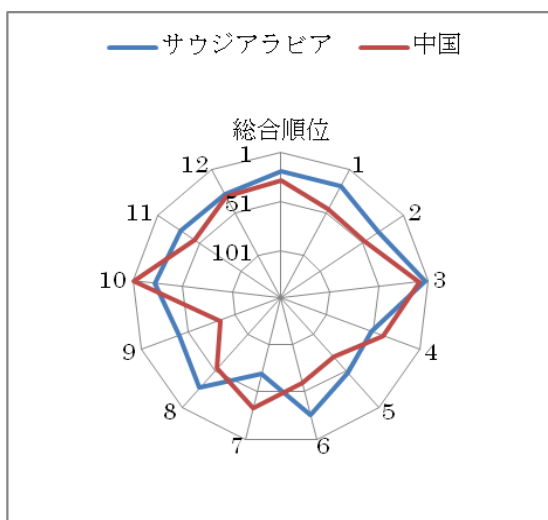
MENA の主要5か国(エジプト、トルコ、サウジアラビア、イラン及び UAE)と日本、中国の分野別競争力を比較してみる。ここではこれら7か国を総合世界ランクが近い国同士で3つのグループに分け、レーダーチャート図によって各国の競争力の特徴を比較検討する。

レーダーチャート図は最も外側が世界順位1位であり内側の中心は世界150位である。また最上段の総合順位以下時計周りの1から12の数字は各分野を示している。各分野の世界順位を結ぶ輪が各国の状況である。レーダーチャートの輪が外側に広がっているほど世界での順位が高く、また輪の形が円に近いほど各分野で平均した競争力があることを示している。

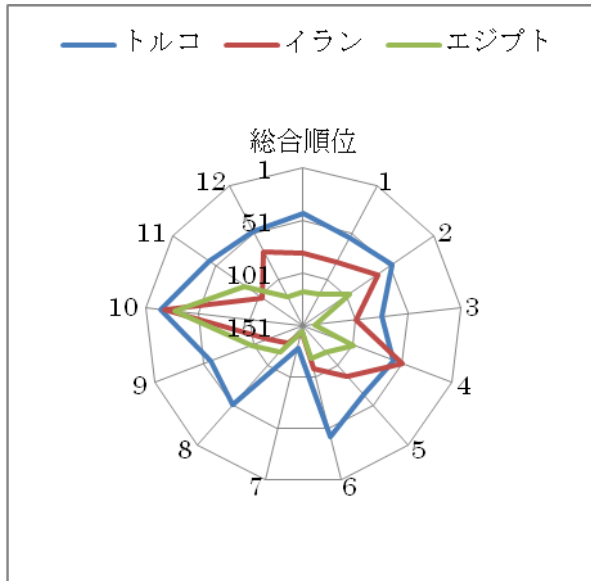


まず日本(総合世界10位)と UAE(総合世界19位)を比較すると、日本は「3. マクロ経済の安定性」が大きく落ち込んでいるが、その他の項目はほぼ世界の20位前後であり特に「10. 市場規模」、「11. ビジネスの洗練度」、「12. イノベーション」では世界トップクラスである。これに対して UAE は「2. インフラ」、「3. マクロ経済の安定性」、「6. 商品市場効率」、「7. 労働市場効率」の4項目が世界10位以内であり、部分的には日本を上回っている項目が少なくない。しかし同国は「4. 保健及び初等教育」、「5. 高等教育及び職業訓練」或いは「10. 市場規模」などが世界40位前後と劣っている。「マクロ経済の安定性」で UAE が世界7位に対し日本が世界127位と両国の格差が大きいのは UAE が無借金体質であるのに比べ、日本は国債の対 GDP 比率が世界で最も高い 200%近くに達することが主な理由であろう。

「マクロ経済の安定性」で UAE が世界7位に対し日本が世界127位と両国の格差が大きいのは UAE が無借金体質であるのに比べ、日本は国債の対 GDP 比率が世界で最も高い 200%近くに達することが主な理由であろう。



次にサウジアラビアと中国を比べると総合順位はそれぞれ20位、29位である。12項目のうち中国がサウジアラビアを上回っているのは「4. 保健及び初等教育」、「7. 労働市場効率」及び「10. 市場規模」の3項目だけであり、その他の9項目はサウジアラビアが中国を上回っている。市場規模の順位格差については説明するまでもないが、労働市場効率に関しては、サウジアラビアでは宗教上の制約により女性の就労率が低いいため市場効率が悪いとされているのである。



トルコとイランとエジプトは共に人口7千～8千万人を有する MENA の大国である。3カ国の総合ランクはトルコ44位、イラン82位、エジプト118位であり3カ国の間にかなり大きな格差がある。3カ国に共通しているのは「10. 市場規模」の世界ランクが高い(トルコ16位、イラン19位、エジプト29位)一方、「7. 労働市場効率」のランクは世界148カ国中の最低レベル(トルコ130位、イラン145位、エジプト146位)とすることである。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
 Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
 E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

世界競争力ランキング(2013-14年)

	世界順位	MENA 順位
カタール	13	1
UAE	19	2
サウジアラビア	20	3
イスラエル	27	4
オマーン	33	5
クウェイト	36	6
バハレーン	43	7
トルコ	44	8
ヨルダン	68	9
モロッコ	77	10
イラン	82	11
チュニジア	83	12
アルジェリア	100	13
レバノン	103	14
リビア	108	15
エジプト	118	16
イエメン	145	17
イラク	-	-
パレスチナ自治区	-	-
シリア	-	-
MENA 平均	66	
世界 1 位(スイス)	1	
最下位(チャド)	148	
日本	9	
米国	5	
ドイツ	4	
中国	29	
韓国	25	
インド	60	
ロシア	64	

Source:The Global Competitiveness Report by World Economic Forum (WEF)

<http://reports.weforum.org/global-competitiveness-report-2013-2014/#>

世界競争カランクの推移

	第9回 (2009-2010 年)	第10回 (2010-2011 年)	第11回 (2011-2012 年)	第12回 (2012-2013 年)	第13回 (2013-2014 年)
カタール	22	17	14	11	13
UAE	23	25	27	24	19
サウジアラビア	28	21	17	18	20
イスラエル	27	24	22	26	27
オマーン	41	34	32	32	33
クウェイト	39	35	34	37	36
バハレーン	38	37	37	35	43
トルコ	61	61	59	43	44
ヨルダン	50	65	71	64	68
モロッコ	73	75	73	70	77
イラン	-	69	62	66	82
チュニジア	40	32	40	-	83
アルジェリア	83	86	87	110	100
レバノン	-	-	89	91	103
リビア	88	100	-	113	108
エジプト	70	81	94	107	118
イエメン	-	-	138	140	145
イラク	-	-	-	-	-
パレスチナ自治区	-	-	-	-	-
シリア	94	97	98	-	-
MENA 平均	52	54	58	62	66
調査対象国数	133	139	142	144	148

Source:The Global Competitiveness Report by World Economic Forum (WEF)

<http://reports.weforum.org/global-competitiveness-report-2012-2013/#=>

2013-2014年世界競争ランキング(項目別)

総合順位	国名	Institutions	Infrastructure	Macroeconomic environment	Health and primary education	Higher Education and training	Goods market efficiency	Labor market efficiency	Financial market sophistication	Technological readiness	Market size	Business sophistication	Innovation
13	カタール	4	28	6	25	29	3	6	13	31	60	10	16
19	UAE	11	5	7	49	35	4	9	24	28	44	16	28
20	サウジアラビア	20	31	4	53	48	27	70	27	41	23	28	30
27	イスラエル	40	35	72	38	34	68	57	22	23	49	23	3
33	オマーン	13	32	5	48	57	18	28	21	56	73	32	45
36	クウェイト	49	53	3	77	84	90	105	70	69	66	77	118
43	バハレーン	32	30	21	44	53	19	19	25	32	106	53	73
44	トルコ	56	49	76	59	65	43	130	51	58	16	43	50
68	ヨルダン	38	54	138	65	56	39	101	79	70	87	47	53
77	モロッコ	53	57	90	82	102	69	122	69	80	56	92	106
82	イラン	83	65	100	51	88	110	145	130	116	19	104	71
83	チュニジア	73	77	96	47	73	88	132	110	83	64	76	88
100	アルジェリア	135	106	34	92	101	142	147	143	136	48	144	141
103	レバノン	138	119	148	28	45	51	120	100	81	71	62	124
108	リビア	125	103	16	120	104	143	136	147	128	80	131	146
118	エジプト	117	98	140	100	118	119	146	119	100	29	84	120
145	イエメン	142	143	139	129	144	133	141	148	137	85	124	148
66	(平均)	66	64	64	65	73	69	95	76	75	57	67	80
参考													
10	日本	17	9	127	10	21	16	23	23	19	4	1	5
29	中国	47	48	10	40	70	61	34	54	85	2	45	32
7	米国	35	15	117	34	7	20	4	10	15	1	6	7

Source: The Global Competitiveness Report 2013-2014 by World Economic Forum (WEF)

¹ WEF レポート Partner Institute より

<http://www.weforum.org/content/pages/partner-institutes-2012-2013>